

令和2年度 第3回 大阪府立かわち野高等学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和3年 1月25日 15:30～16:50

場所：アクティブラーニング室

参加者：委員：6名 事務局：12名

内容：1.報告・学校説明会

・学校教育自己診断

・各分掌、学年から今年度総括

2.協議・令和2年度学校経営計画について

・令和3年度学校経営計画策定について

○内容記録

1.報告

・学校説明会

コロナ休校対応の土曜授業の日に実施。これまでの4回で中学生241人、保護者68人の参加があり、あと残り1回(2月13日)

・学校教育自己診断

保護者回答のうち、1.「子どもは学校を楽しみにしている」、10.「適切な進路指導」の肯定値が高いが、2.「授業がわかりやすい」、3.「授業がためになっている」はあまり高くない。今年度はコロナの影響で実施できなかったが、実際に保護者に授業を見てもらう機会をつくっていく必要がある。

生徒回答のうち、7.「校則を守っている」、11.「個人情報を守られている」は肯定値が高いが、4.「先生の指導は納得できる」が低い。嫌なことに対してきちんと向き合っていく姿勢を身につけさせたい。

教職員回答のうち、4.「教育課程についての話し合い」、12.「教育相談体制の整備」は肯定値が非常に高い。2つとも今年度時間をかけ、研修なども積み重ねてきた結果である。6.「教育活動に関する評価」、8.「人権尊重に関する教職員の話し合い」の数値が低い。8.に関しては年度後半に行うため、今年度コロナの影響でまだ教職員人権研修が未実施であることも要因だと思われる。

・各分掌、学年から今年度総括

教務：学校教育自己診断【生徒】18.「授業がわかりやすい」50.8%である。今後はICT教育も活用して55%へ向上させたい。今年度は新教育課程の編成に注力してきた。次年度は観点別評価も含め、校内研修を実施していきたい。

生徒指導：遅刻件数が昨年度より減少している。ペナルティの強化ではなく、生徒との対話に時間を費やした効果ではないか。

進路：今年度はコロナの影響で求人傾向が変化した。販売・飲食が減少し、建築・土木が増加するといった、生徒の希望とのずれが目立つ。また、進路行事の機会が減るなどの影響があった。

保健：1年生を中心に、6月から学校生活が始まったために人間関係に悩む生徒も多く、教育相談を充実させて対応している。

企画：盾津中学オープンスクールは実施できたが、教員による中学校訪問、PTA活動、地域連携事業が実施できなかった。次年度は様子を見ながら再開していきたい。

1年：実質的に6月からスタートしたが、中学生気分が抜けきれない生徒も見られ、ていねいな指導が必要であった。

2年：入学当初に比べて在籍数が20人減少している。全員進級を目指している。時期と行き先を変更し、コロナ禍でも修学旅行が実施できた。3年生に向けて進路指導に注力したい。

3年：当たり前のことを当たり前に行うこと、人間的総合力の育成を掲げて指導してきた。授業も落ち着いており、集団行動のルールも守れている。全員の卒業を願って最後の指導を行っている。

2. 協議

・令和2年度学校経営計画について

校長より資料説明後、「3 本年度の取組内容及び自己評価」の項目ごとに質疑が行われた。

1. 「確かな学力」「社会人基礎力」の育成について

会長：図書館運営における改善点は何か。

→図書館ではインターネットが使用可能で、歴史物などのコミックの貸し出しも取り入れながら他の分野にも目を向けてほしいと思っている。教職員の推薦本などを広報することにも力を入れている。

会長：総合的な探求の時間や授業で活用しながら活性化してほしい。

2. 「豊かな心」の育成について

委員：学校教育自己診断【教職員】のうち、8. 「人権尊重」に関する肯定値が低い、職員会議や学年会で話題に上げていけばもっと向上できるのではないかと。

会長：同じく9. 「いじめが起こった際の体制」についての肯定値は高く、上記との相関は不思議である。事象が起こったら迅速に対応できていると思われる。

委員：私は日頃から中学校の教職員に、同様のアンケートで大半の生徒が「学校に行くのが楽しい」と回答しても、否定的な回答した少数の生徒の訴えをしっかり受け止めることが大切だ、と伝えている。

3. 「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動する力」の育成について

会長：学校教育自己診断【生徒】で、7. 「校則を守っている」約 80%、4. 「先生の指導は納得できる」約 46%とギャップがある。生徒はどう感じているのだろうか？

委員：生徒の多くがブレザーを着ていないのはなぜか？

→校則で、冬服はブレザー着用となっている。遅刻、その他の服装指導に手が取られ、ブレザー指導にまで手が回っていないのが実情である。時間をかけて、対話による理解を促す指導を心掛けている。

委員：スカートの下にジャージを着ている女子生徒は、外見が悪い。

→今年はコロナ対策で換気が重視され、一律の指導が難しい。今後もがんばりたい。

・令和3年度学校経営計画策定について

校長より資料説明後、「2 中期的目標」について意見交換が行われた。

委員：1. 「確かな学力」～の育成で、がんばる生徒をほめる、表彰することを取り入れたのがよい。情報科では検定に力を入れた指導をしているが、生徒が認められる機会であり、チャレンジできるのがよい。

副会長：3. 「自ら学び～」の育成について。規範意識の育成に関する盾津中学の過去の乗り越え例でいうと、教職員が一枚岩になること、あれもこれもではなく、すべきことを取捨選択し、精査して教職員が指導内容を理解した上で生徒に納得させ、みんなで守らせることだと思う。

委員：1. のオンライン授業や ICT の活用について。今年はどこまで進んだか？

清風情報工科学院では4～5月オンライン授業、6月からハイブリッドで実施している。健康チェックを定期的実施するなど便利な面もあるが、教員には負担が大きく、学生の学習定着度も今までと違う。高校でも苦勞されていると思うが、どうか。

→G-Suite 導入、G-classroom 生徒向け試行、教員向け講習、Wi-Fi の設置と使用テストなど。ハード面の環境も整っておらず、アカウント忘れなど生徒側問題もあり、まだ実際の活用にまで至っていない。

委員：かわち野高校では、先生方のアツい指導が受け継がれていると思う。根気・元気・勇気で信頼を大切に今後もがんばってほしい。

委員：学校斡旋就職が複数機会へと検討されているなど、今後ますます学校は忙しくなるだろう。そんな中、「丁寧な対話で納得させる指導」と「自ら考える力の育成」は相反する指導で、負担が大きいのではないか。今の若い人には、自らの意見を発信できる力が不足していると感じており、自主性を育てたい。

委員：子どもに意思を問うても、なかなか自分の意志や意見が出てこない。自分で進路について考え、決意して、自分なりの根拠をもってやる気を出してほしい。

会長：小さな成功体験を積み重ね、自己肯定感を高める指導を今後も期待したい。

今回の意見交換を踏まえて学校教育計画について教育庁に提出をお願いします。また、教育

庁からの指示で修正の可能性があることも含めて了承したい。

以上